

株式会社 多田鉄工所

2024年度環境経営レポート

(対象期間：2024年2月1日～2025年1月31日)



作成日：2025年3月6日

株式会社 多田鉄工所

環境経営方針

当社は熱間鍛造の事業を行っている。企業責任の重大さを自覚し技術開発を進め、事業活動を通じて、地球温暖化の緩和に向けた取り組みや様々な環境活動に全員参加で自主的・積極的に継続的改善に取り組めます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します
2. 電力、燃料による二酸化炭素排出量の削減に取り組めます
3. 廃棄物の削減とリサイクルを推進します
4. 節水行動や作業改善で水使用量を削減します
5. 化学物質の適正管理に努めます
6. 5S活動から、環境に配慮した生産活動に努めます

制定日： 2015年8月31日

改定日： 2024年11月1日

代表取締役社長

森本吉彦

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 多田鉄工所
代表取締役社長 森本吉彦

(2) 所在地

本 社 大阪府大阪市西淀川区中島2-13-96

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 森本茂信 TEL : 06-6473-7356

担当者 森本吉彦 TEL : 06-6473-7356

(4) 事業内容

熱間鍛造

主要製品：産業車両、鉄道部品、電力架線部品

(5) 事業の規模

製品出荷額 2.96 億円

主要製品生産量 264 トン

	本社
従業員	6名
延べ床面積	1250㎡

(6) 事業年度

2月1日～1月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名：株式会社 多田鉄工所

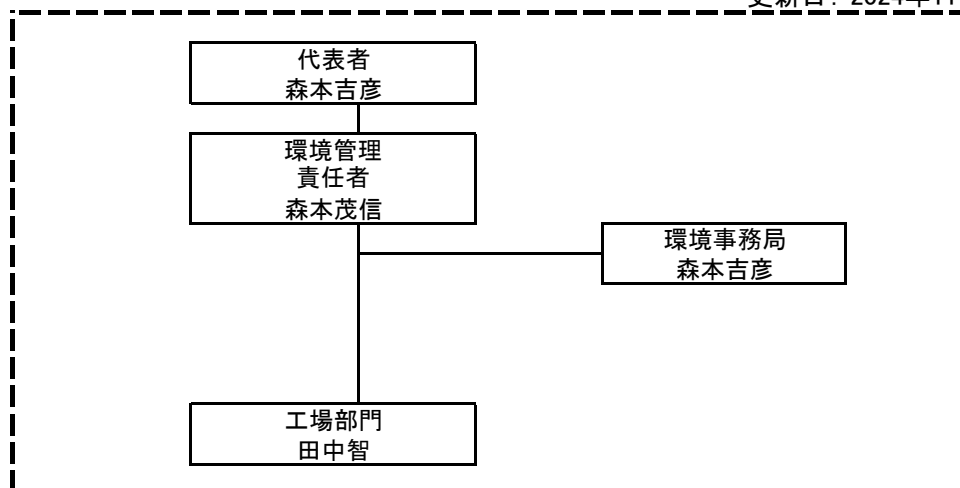
対象事業所： 本社

対象外： なし

活動： 熱間鍛造による金属部品（産業車両、鉄道、電力架線）の製造

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2024年11月1日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） ・環境活動計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2014年	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	271, 836	180, 293	193, 170	193, 331
廃棄物排出量	kg	360	420	370	370
一般廃棄物排出量	kg	360	420	370	370
産業廃棄物排出量	kg	0	0	0	0
水道水の削減	m ³	633	601	994	606

※電力の二酸化炭素排出量換算値;2022年度より関西電力排出係数（調整後）0.351kg-CO₂/kWh、採用

□環境経営目標及びその実績

		基準値	2023年	2024年		2025年	2026年
		(基準度)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂ (kWh) 基準年比	188,247 (536,315) 2014年	118,466 337,511 62.9%	110,124 313,744 58.5%	111,501 317,667 59.2%	109,183 311,063 58.0%	108,242 308,381 57.5%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂ 基準年比	72,771 2014年	66,882 91.9%	57,707 79.3%	74,435 102.3%	69,132 95.0%	68,405 94.0%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂ 基準年比	8,073 2014年	7,822 96.9%	8,056 100%	7,395 91.6%	7,265 90.0%	7,265 90.0%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	269,090	193,170	175,888	193,331	185,580	183,912
一般廃棄物の削減	kg 基準年比	360 2014年	370 103%	367 102%	370 103%	367 102%	364 101%
水道水の削減	m ³ 基準年比	633 2014年	994 157%	595 94%	606 96%	595 94%	592 93%

□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	×	7月から受注量が生産可能量を超えることが続き、積み残しがある状態が続いている。 外注を活用するなど、生産性をあげるのが課題
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	
・不要照明の消灯	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	△	
・作業改善・業務改善の推進（部門別活動計画書で運用）	×	
【目標未達成時の挽回策】		
エア漏れ箇所の補修をおこなう		
都市ガスによる二酸化炭素削減		
数値目標	×	受注の波が高い位置で推移している状態が続いている 生産性をどのように上げていくかが課題
・加熱炉の空気比	△	
自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	○	物量が多くなり、自社便での納入では間に合わず、混載便、チャーター便の使用が増え、自社での燃料費使用は減った
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
一般廃棄物の削減		
数値目標	×	不要なものの廃棄をする時間がとれず、不要なものが増えている 割り切って時間を作り、掃除をすることが必要
・分別の徹底	△	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	△	
水道水の削減		
数値目標	×	仕事終わりに水が止まっているか、確認するようにした
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
3S活動の推進		
数値目標	-	朝の清掃は定着し、作業終了後にも機械の周辺を掃除するようになった
・朝礼後の清掃活動	○	
・治具、道具の整理整頓	×	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、廃水銀灯、産業廃棄物
騒音規制法・振動規制法	空圧機（鉄工団地により届出対象外）
フロン排出抑制法	業務用空調機（定期点検）
消防法	消防設備の定期点検

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

実施日： 2024年12月27日 午前8時～8時30分

火災対応手順書の有効性テストを兼ねての通報訓練及び消火訓練を実施した。

参加者：6名

概ね順調に訓練できました。手順の確認だけでなく消火器の使用も行ってみたい
手順書の変更無し。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

受注が増えたなか、値上げ交渉を適正におこなえなければ、外注への依頼単価が捻出できず、生産が間に合わない非常事態になると考える。

社会全体の価格に対する感覚が変わりつつあるなか、どのように会社を持続していくかが、難しい課題になっている

〔見直し・指示〕

環境経営方針

環境経営目標・計画

実施体制

☒ 変更なし

☐ 変更なし

☒ 変更なし

☐ 変更あり

☒ 変更あり（目標は前年の実績を考慮）

☐ 変更あり

□環境活動の紹介

無事故を掲示し、安全への意識を高める取り組みをおこなっている

